令和５年度　学校評価報告（高等学校）

≪総評≫

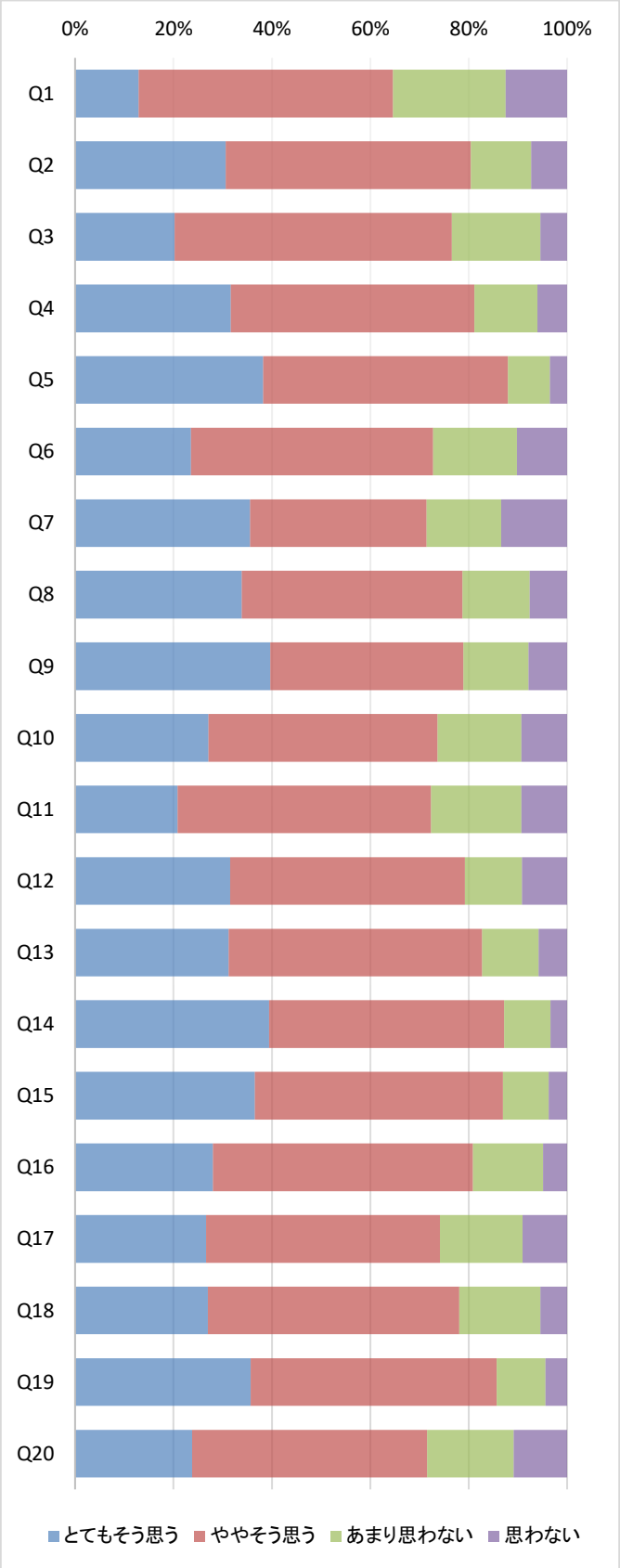
令和5年度の皆さまからの学校評価アンケートの回収率は、60.6%でした。回答にご協力をいただきました皆さまに、改めて感謝申し上げます。
以下、今回のアンケート結果からみえる事項につきまして、記述させていただきます。

令和5年度の生徒・保護者による学校評価における肯定的評価（「とてもそう思う」と「ややそう思う」の合計）の上位項目は、主にQ5「質問・相談対応」・Q14「ICT機器整備」・Q15「国際理解教育」・Q16「環境整備および美化」・Q19「情報発信」であった。これは、生徒一人ひとりに丁寧にかかわる教育実践と、充実した施設・設備および独自カリキュラムの提供といった面において、私学教育として公立との差別化が十分に図られていることが示されている。ただし、令和4年度と比較して「とてもそう思う」という強い肯定的評価の割合は、生徒・保護者ともに約3%、教員評価においても約5%減少している（肯定的評価の合計では、生徒：約1%増加、保護者：変わらず、教員：約2%減少）ことから、決して楽観視できるものではない。
一方、生徒の否定的評価（「思わない」と「あまり思わない」の合計）の上位項目は、Q1「建学の精神に基づいた教育活動の実践」・Q3「授業力（わかりやすさ）」・Q4「学習支援体制」・Q5「教員への相談しやすさ」・Q7「部活動の充実」・Q20「本校への満足度」であった。特に、生徒においてはQ1の否定的評価割合が40%弱と、これは他項目と比べても群を抜いて高くなっている。続いて、Q20の否定的評価割合が約25%と、本校の根幹である「カトリック・ミッションスクール」としての使命とカリキュラムへの落とし込みを、今一度早急に検討する必要がある。つづいて保護者からは、Q3「授業力」・Q4「学習支援体制」・Q5「教員への相談しやすさ」・Q7「部活動の充実」の主に4項目について、ほぼ同程度の割合で否定的評価が高かった。なお、Q1・Q4・Q7については、教員も同様に否定的評価の割合が非常に高いことから、改善が急務である。
令和4年度と比較して、生徒・保護者の肯定的評価が上昇したのは、ともにQ15「国際理解教育」であり、つづいてQ8・Q9「学院祭・体育祭の満足度」の項目であることから、コロナ禍が明けて制限のない学校生活が戻ったことに他ならない。また、生徒の肯定評価としてはQ6「教員への相談しやすさ」の項目が10%ほど増加しているものの、否定的評価も約25%増加していることから、大多数の生徒に対しては引き続き課題となる項目である。
一方、昨年度と比較して大きく上昇した否定的評価項目は、Q12「教員の校則および規律順守指導」・Q17「教職員の適切な服装や言動」であり、これらは特に生徒よりも保護者からの評価が厳しい。それに伴って、保護者による本校への満足度も約10%低下（否定的評価が増加）していることから、保護者としては、子どもの「校則・規律順守の指導徹底」を望みながらも、一方で教員の子どもたちへの指導の方法については「適切さ」を求めるという、今後、学校としては非常に対応に苦慮することになる課題である。

以上、今後、生徒・保護者にとってより充実した学校生活となるように、これらのアンケート結果をもとに各部署で課題を共有して協議を重ね、改善をして参ります。つきましては、次年度も本校の教育活動にご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

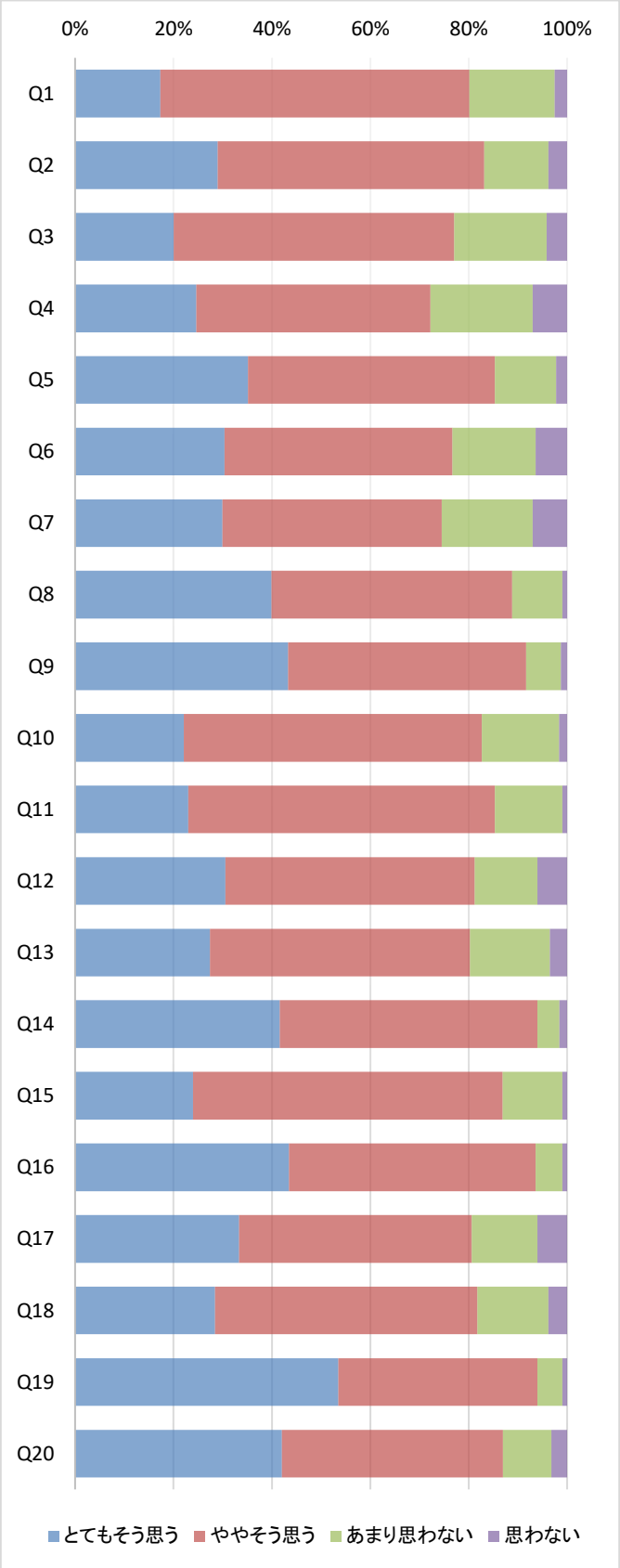
学校評価アンケート　高等学校（生徒）

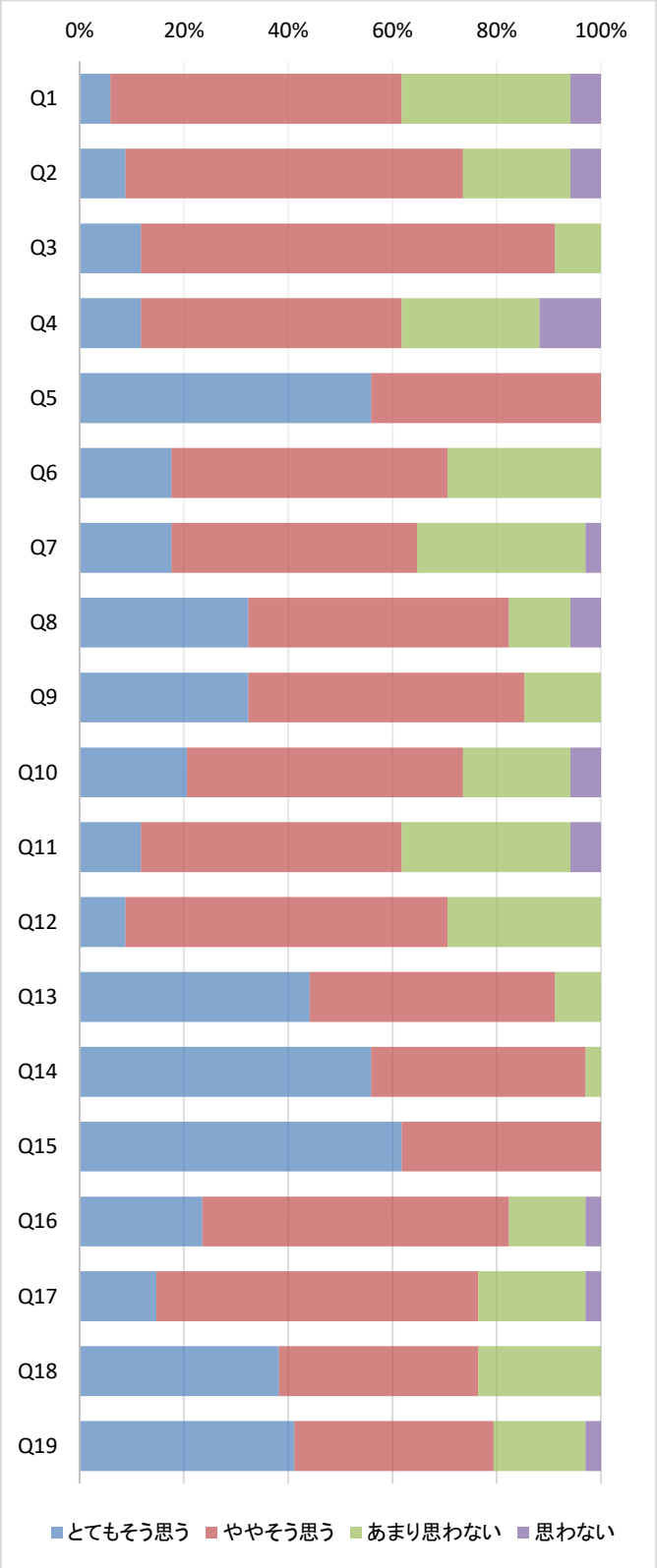
Q1	キリスト教と建学の精神「和と善」に基づいて教育活動が行われている。
Q2	コース制による学習は効果的である。
Q3	教師は、ていねいで分かりやすい授業に努めている。
Q4	補習や課題、学内予備校など、学習へのサポート体制が整っている。
Q5	教師は質問や相談に応じている。
Q6	担任やクラブ顧問などの先生に気軽に相談できる雰囲気がある。
Q7	部活動は学校生活を充実させている。
Q8	体育祭は満足できるものだった。
Q9	学院祭は満足できるものだった。
Q10	生徒会・委員会は活発に活動している。
Q11	学級活動・LHRは有効に活用されている。
Q12	教師は校則や社会のルールを守るよう指導している。
Q13	進路に関する情報は適切に提供されている。
Q14	タブレットやプロジェクターなどのICT機器の整備が進められている。
Q15	留学制度や海外校との相互交流などを通して国際理解教育が推進されている。
Q16	校内環境の整備・美化に対する取り組みが積極的に行われている。
Q17	教職員は、職務にふさわしい服装、節度ある行動、態度がとれている。
Q18	生徒の心身の健康について管理・指導がなされている。
Q19	ホームページやClassi配信、メール配信などを通して、適切な情報提供がされている。
Q20	仁川学院に入学してよかったと感じる。



学校評価アンケート　高等学校（保護者）

Q1	キリスト教と建学の精神「和と善」に基づいて教育活動が行われている。
Q2	コース制による学習は効果的である。
Q3	教師は、ていねいで分かりやすい授業に努めている。
Q4	補習や課題、学内予備校など、学習へのサポート体制が整っている。
Q5	教師は質問や相談に応じている。
Q6	担任やクラブ顧問などの先生に気軽に相談できる雰囲気がある。
Q7	部活動は学校生活を充実させている。
Q8	体育祭は満足できるものだった。
Q9	学院祭は満足できるものだった。
Q10	生徒会・委員会は活発に活動している。
Q11	学級活動・LHRは有効に活用されている。
Q12	教師は校則や社会のルールを守るよう指導している。
Q13	進路に関する情報は適切に提供されている。
Q14	タブレットやプロジェクターなどのICT機器の整備が進められている。
Q15	留学制度や海外校との相互交流などを通して国際理解教育が推進されている。
Q16	校内環境の整備・美化に対する取り組みが積極的に行われている。
Q17	教職員は、職務にふさわしい服装、節度ある行動、態度がとれている。
Q18	生徒の心身の健康について管理・指導がなされている。
Q19	ホームページやClassi配信、メール配信などを通して、適切な情報提供がされている。
Q20	仁川学院に入学してよかったと感じる。



学校評価アンケート　高等学校（教員）

Q1	キリスト教と建学の精神「和と善」に基づいて教育活動が行われている。
Q2	コース制による学習は効果的である。
Q3	教師は、ていねいで分かりやすい授業に努めている。
Q4	補習や課題、学内予備校など、学習へのサポート体制が整っている。
Q5	教師は質問や相談に応じている。
Q6	担任やクラブ顧問などの先生に気軽に相談できる雰囲気がある。
Q7	部活動は学校生活を充実させている。
Q8	体育祭は満足できるものだった。
Q9	学院祭は満足できるものだった。
Q10	生徒会・委員会は活発に活動している。
Q11	学級活動・LHRは有効に活用されている。
Q12	教師は校則や社会のルールを守るよう指導している。
Q13	進路に関する情報は適切に提供されている。
Q14	タブレットやプロジェクターなどのICT機器の整備が進められている。
Q15	留学制度や海外校との相互交流などを通して国際理解教育が推進されている。
Q16	校内環境の整備・美化に対する取り組みが積極的に行われている。
Q17	教職員は、職務にふさわしい服装、節度ある行動、態度がとれている。
Q18	生徒の心身の健康について管理・指導がなされている。
Q19	ホームページやClassi配信、メール配信などを通して、適切な情報提供がされている。